

Numazu Fresh News

ジオガイド養成講座で講義 テーマ:「伊豆の河川と災害」

発信日:2014/ 7/ 2

発信者:沼津河川国道事務所

7月1日(火)に「伊豆の河川と災害」をテーマに伊豆半島ジオガイドの養成講座で講義を行い、災害の発生する背景や治水事業での対応などを説明しました。



建設専門官による講義



ジオガイド養成講座は、伊豆半島ジオパークについてより深く学んでいただき、地域のみなさんや観光客のみなさんに伊豆半島のすばらしさを伝えていただく**プロのガイド**を養成するものです。

ジオパークとは

「地球活動の遺産を主な見所とする自然の中の公園」

活動面から言うと「大地(ジオ)が育んだ貴重な資産を多数備えた地域が、それらの保全と活用によって経済・文化活動を高め、結果として**地域振興**につなげていく仕組み」
(「指針書」から抜粋)

- 1.地質・地形に限らずそれに由来する地域の文化・歴史・産業・動植物などを広く「大地の恵み」として、
- 2.価値あるものと認め、
- 3.それを子どもたちや訪問者に分かりやすく「物語る」
(教育・観光)「場所」という意味

災害遺構や防災施設をジオサイトに設定



丹那断層のトレンチ展示施設
(丹那断層公園)



津波到達碑
(伊東市・海蔵寺)



狩野川カヤックツアー + 狩野川放水路見学
楽しく遊びながら学べる「ツアー」の試行
(NPO法人 伊豆どろんこの会 2011年10月13日)

狩野川放水路もジオサイトのひとつです
(日本ジオパーク加盟申請プレゼン資料より)

伊豆半島ジオパークは現在、世界ジオパークの認定に向け、日本ジオパーク委員会に資格審査を申請(H26.3)。今月には現地審査が行われる予定です。当事務所も推進協議会のメンバー(顧問)として関わっています。

記事の詳細については(河)副所長(TEL:055-934-2001)にお問い合わせ下さい。